

# 厚生年金保険・国民年金事業の概況 (平成 27 年 9 月現在)

## 1. 総括

### (1) 適用状況

- 平成27年9月末の国民年金と厚生年金保険の被保険者数は、6,276万人であり、前年同月に比べて、8万人（0.1%）減少している。

表 1 制度別適用状況

	事業所数	被保険者数(人)			標準報酬月額 の平均 (円)
		総数	男子	女子	
厚生年金保険	1,924,714	36,788,774	23,351,031	13,437,743	310,026
船員以外	1,920,199	36,734,382	23,296,639	13,437,743	309,904
一般男子	・	23,296,045	23,296,045	・	351,170
女子	・	13,437,743	・	13,437,743	238,364
坑内員	・	594	594	・	344,037
船員	4,515	54,392	54,392	・	392,031
国民年金	・	25,969,962	8,719,988	17,249,974	・
第1号	・	16,509,333	8,529,905	7,979,428	・
任意加入	・	233,935	80,869	153,066	・
第3号	・	9,226,694	109,214	9,117,480	・
合計	・	62,758,736	32,071,019	30,687,717	・
人口	・	126,890,000	61,710,000	65,180,000	・
うち20～59歳	・	62,460,000	31,590,000	30,870,000	・
共済組合 (平成 26 年 3 月末)	・	4,394,472	2,772,558	1,621,914	・

注1. 厚生年金保険の被保険者のうち、坑内員及び船員は全員男子とみなした。

2. 人口は翌月1日現在の推計人口(総務省統計局)である。

### (2) 給付状況

- 平成27年9月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者数（同一の年金種別を除く延人数）は、4,370万人であり、前年同月に比べて、49万人（1.1%）増加している。

表 2 制度別年金受給者数

(単位：人)

	総数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	33,292,404	14,698,321	12,912,862	406,474	5,241,400	33,347
旧共済組合を除く	32,796,511	14,398,535	12,828,589	402,794	5,134,076	32,517
旧法	1,637,890	639,872	520,274	43,846	402,053	31,845
新法	31,124,936	13,743,959	12,305,712	357,587	4,717,678	・
(再掲) 基礎あり	22,126,541	11,727,528	10,093,362	234,091	71,560	・
基礎または定額あり	22,907,794	12,167,156	10,740,638	・	・	・
基礎繰上げあり	1,826,592	471,333	1,355,259	・	・	・
基礎繰上げなし	21,081,202	11,695,823	9,385,379	・	・	・
基礎及び定額なし	3,141,877	1,576,803	1,565,074	・	・	・
船員保険 (旧法)	33,685	14,704	2,603	1,361	14,345	672
旧共済組合計	495,893	299,786	84,273	3,680	107,324	830
旧法	169,534	128,452	4,889	1,567	33,796	830
新法	326,359	171,334	79,384	2,113	73,528	・
(再掲) 基礎あり	244,705	168,669	74,238	1,740	58	・
国民年金 計	32,776,426	30,171,137	666,501	1,841,366	97,422	・
旧法拠出制	1,720,117	981,582	666,501	58,483	13,551	・
新法基礎年金	31,056,309	29,189,555	・	1,782,883	83,871	・
(再掲) 基礎のみ	8,149,945	6,602,645	・	1,521,407	25,893	・
福祉年金	585	585	・	・	・	・
合 計	43,698,169	32,973,846	3,411,763	2,012,009	5,267,204	33,347

注1. 新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金」に計上している。新法退職共済年金についても同様。（表3において同じ。）

2. 人数の合計は、厚生年金保険と同一の年金種別の基礎年金を併給している者の重複分を控除した数である。

3. 「基礎あり」は、同一の年金種別の基礎年金の受給権を有する者をいう。

4. 「基礎のみ」は、同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。

5. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、第1号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法拠出制に計上している。（表3において同じ。）

- 平成27年9月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者の年金総額は、47兆7千億円であり、前年同月に比べて、1兆2千億円（2.6%）増加している。

表3 制度別受給者年金総額

（単位：百万円）

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	25,849,875	17,835,586	2,407,538	299,402	5,298,536	8,813
厚生年金基金代行分除く	24,224,016	16,334,178	2,283,087	299,402	5,298,536	8,813
旧共済組合を除く	25,192,100	17,329,767	2,386,702	295,657	5,171,356	8,618
旧 法	1,764,032	1,089,719	197,275	51,672	416,922	8,445
厚生年金基金代行分除く	1,746,411	1,075,259	194,114	51,672	416,922	8,445
新 法	23,359,177	16,197,827	2,188,540	241,150	4,731,661	・
(別掲) 基礎年金	15,169,163	8,243,465	6,655,071	200,039	70,588	・
厚生年金基金代行分除く	21,750,939	14,710,879	2,067,250	241,150	4,731,661	・
船員保険 (旧法)	68,891	42,221	887	2,835	22,774	174
旧共済組合計	657,775	505,819	20,837	3,745	127,179	195
旧 法	343,502	298,652	2,319	2,382	39,953	195
新 法	314,273	207,167	18,518	1,362	87,226	・
(別掲) 基礎年金	181,460	125,601	54,358	1,443	58	・
国民年金 計	21,803,997	19,956,139	149,661	1,603,485	94,712	・
旧法拠出制	685,257	477,980	149,661	51,422	6,194	・
新法基礎年金	21,118,741	19,478,159	・	1,552,064	88,518	・
(再掲) 基礎のみ	5,493,423	4,137,117	・	1,329,745	26,561	・
福祉年金	234	234	・	・	・	・
合 計	47,654,106	37,791,959	2,557,199	1,902,887	5,393,248	8,813

注1. 年金総額には一部停止額を含む。

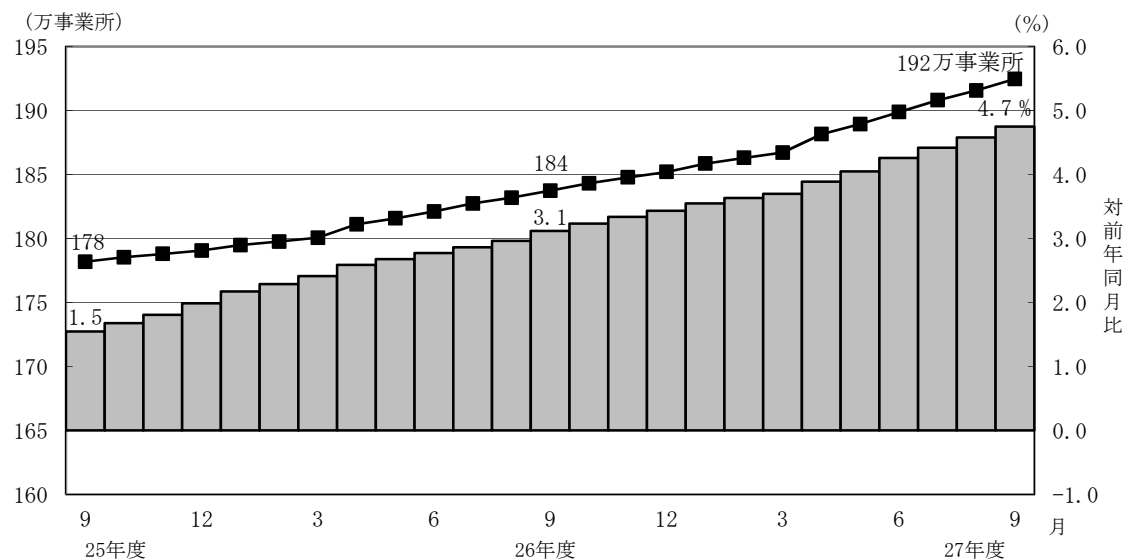
2. 「基礎のみ」は同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者の年金総額である。

## 2. 厚生年金保険

### (1) 適用状況

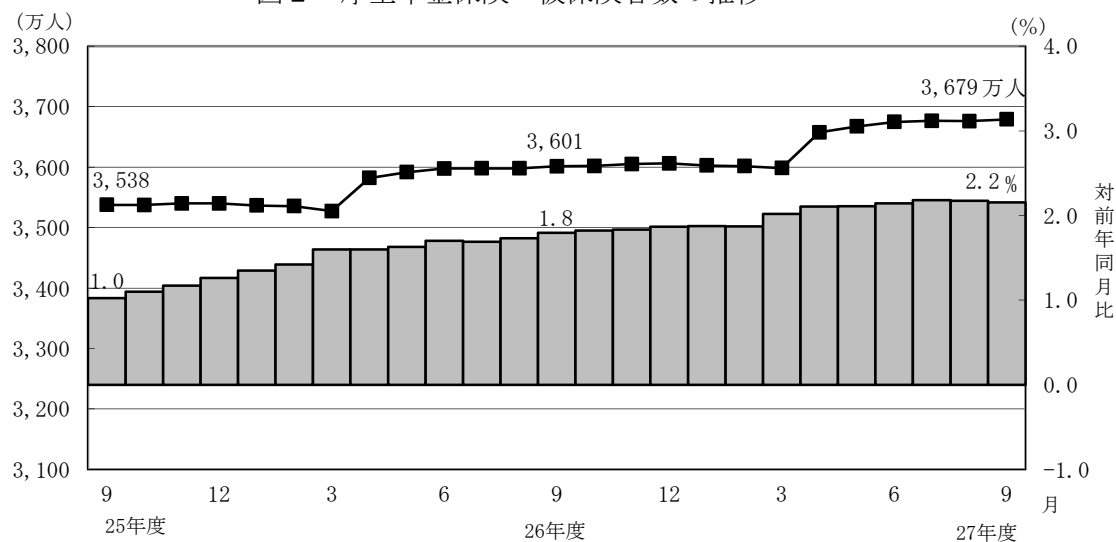
- 平成27年9月末の厚生年金保険の適用事業所数は192万事業所であり、前年同月に比べて9万事業所（4.7%）増加している。

図1 厚生年金保険 適用事業所数の推移



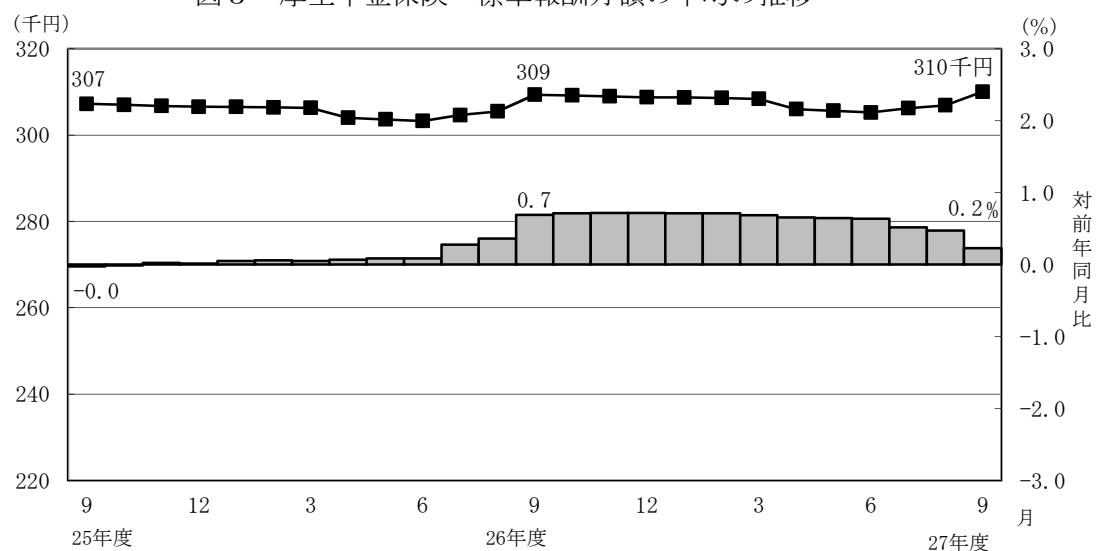
- 厚生年金保険の被保険者数は3,679万人となっており、前年同月に比べて78万人（2.2%）増加している。内訳をみると、一般男子が2,330万人（対前年同月比39万人、1.7%増）、女子が1,344万人（対前年同月比38万人、2.9%増）、坑内員が6百人（対前年同月比21人、3.4%減）、船員が5万人（対前年同月比92人、0.2%増）である。

図2 厚生年金保険 被保険者数の推移



- 標準報酬月額平均は、31万26円となっており、前年同月に比べて0.2%増加している。内訳をみると、一般男子は35万1,170円（対前年同月比0.1%増）、女子は23万8,364円（対前年同月比0.8%増）、坑内員は34万4,037円（対前年同月比1.0%増）、船員が39万2,031円（対前年同月比1.1%増）である。

図3 厚生年金保険 標準報酬月額の平均の推移

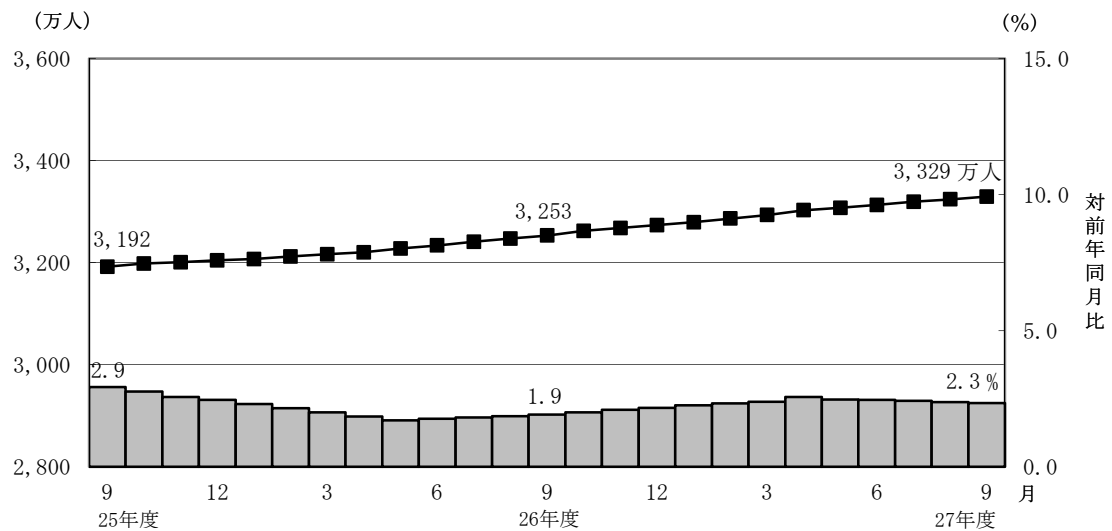


- 賞与支給事業所数は6万事業所、賞与支給被保険者数は84万人、標準賞与額の平均は23万3,902円となっている。

## (2) 給付状況

- 平成27年9月末の厚生年金保険受給者数は3,329万人（旧法厚年分164万人、新法厚年分3,112万人、旧法船保分3万人、旧共済分50万人）で、前年同月に比べて76万人（2.3%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,761万人（旧法厚年分116万人、新法厚年分2,605万人、旧法船保分2万人、旧共済分38万人）で、前年同月に比べて66万人（2.5%）増加している。
- 障害給付の受給者数は41万人（旧法厚年分4万人、新法厚年分36万人、旧法船保分1千人、旧共済分4千人）で、前年同月に比べて7千人（1.7%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は527万人（旧法厚年分43万人、新法厚年分472万人、旧法船保分2万人、旧共済分11万人）で、前年同月に比べて9万人（1.8%）増加している。

図4 厚生年金保険受給者数の推移



- 平成27年9月末の老齢年金受給者の平均年金月額は、14万8,569円となっている。  
老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、8万3,620円である。

- 平成27年9月末における失業給付との調整に該当する受給権者数は6万人、高年齢雇用継続給付との併給調整に該当する受給権者数は31万人となっている。

表 4 雇用保険の給付と老齢厚生年金との調整

		失 業 給 付								
		件数（人）			総停止年金額（千円）			平均停止月額（円）		
		計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 27 年	4 月	51,299	35,398	15,901	32,952,824	29,533,619	3,419,204	53,531	69,528	17,919
	5 月	61,059	42,513	18,546	39,209,439	35,237,449	3,971,991	53,513	69,072	17,847
	6 月	64,649	44,937	19,712	41,367,800	37,194,424	4,173,376	53,324	68,975	17,643
	7 月	65,597	45,309	20,288	41,649,551	37,400,505	4,249,046	52,911	68,788	17,453
	8 月	65,479	45,366	20,113	41,760,415	37,563,277	4,197,138	53,147	69,000	17,390
	9 月	64,082	44,825	19,257	41,433,753	37,431,541	4,002,212	53,881	69,588	17,319

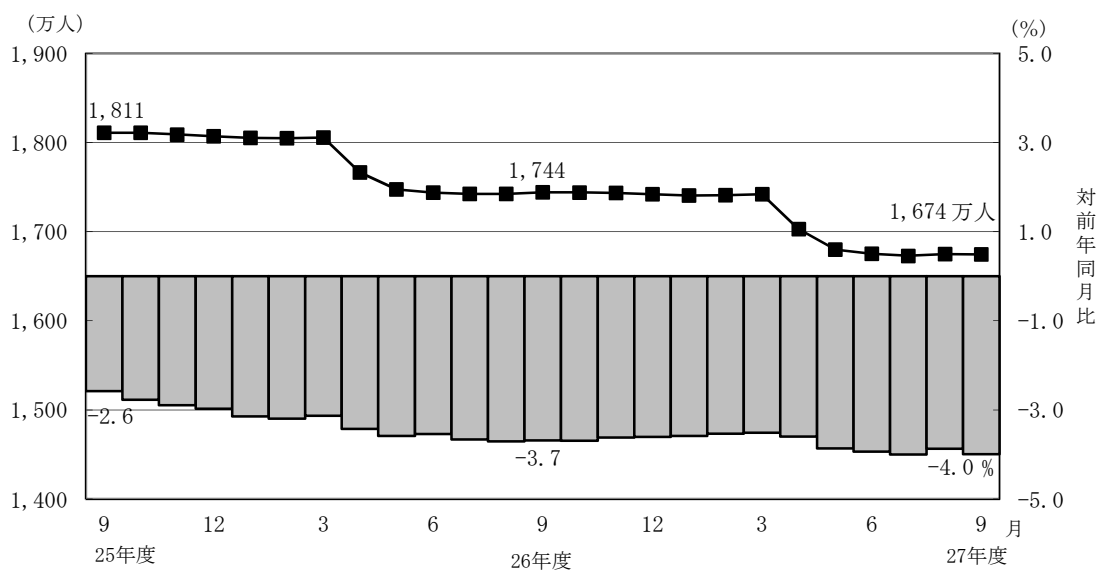
		高 年 齢 雇 用 継 続 給 付								
		件数（人）			高年齢雇用継続給付による停止総額（千円）			平均停止月額（円）		
		計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 27 年	4 月	308,484	299,139	9,345	39,061,964	38,188,069	873,896	10,552	10,638	7,793
	5 月	300,932	291,651	9,281	38,037,630	37,179,026	858,604	10,533	10,623	7,709
	6 月	301,158	291,973	9,185	38,168,100	37,311,612	856,488	10,561	10,649	7,771
	7 月	306,729	297,148	9,581	38,867,430	37,966,101	901,329	10,560	10,647	7,840
	8 月	309,292	299,316	9,976	39,107,145	38,171,865	935,280	10,537	10,628	7,813
	9 月	307,848	298,049	9,799	39,351,979	38,418,159	933,820	10,652	10,742	7,941

### 3. 国民年金

#### (1) 適用状況

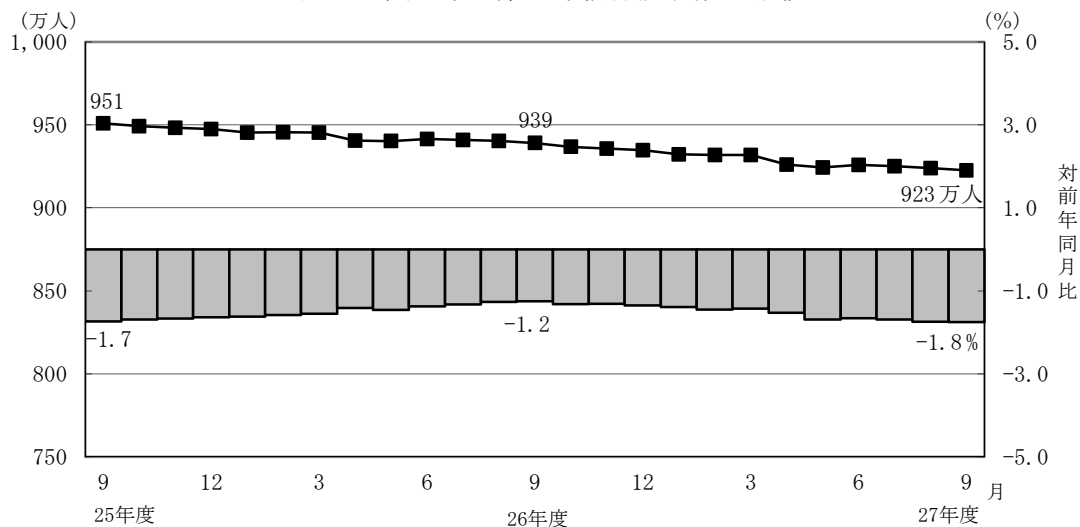
- 平成27年9月末の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む。）は、1,674万人となっており、前年同月に比べて70万人（4.0%）減少している。内訳をみると、男子は861万人（対前年同月比34万人、3.8%減）、女子は813万人（対前年同月比35万人、4.2%減）である。

図5 国民年金第1号被保険者数（任意加入を含む）の推移



- 第3号被保険者数は923万人となっており、前年同月に比べて16万人（1.8%）減少している。内訳をみると、男子は11万人（対前年同月比2千人、1.5%減）、女子は912万人（対前年同月比16万人、1.8%減）となっている。

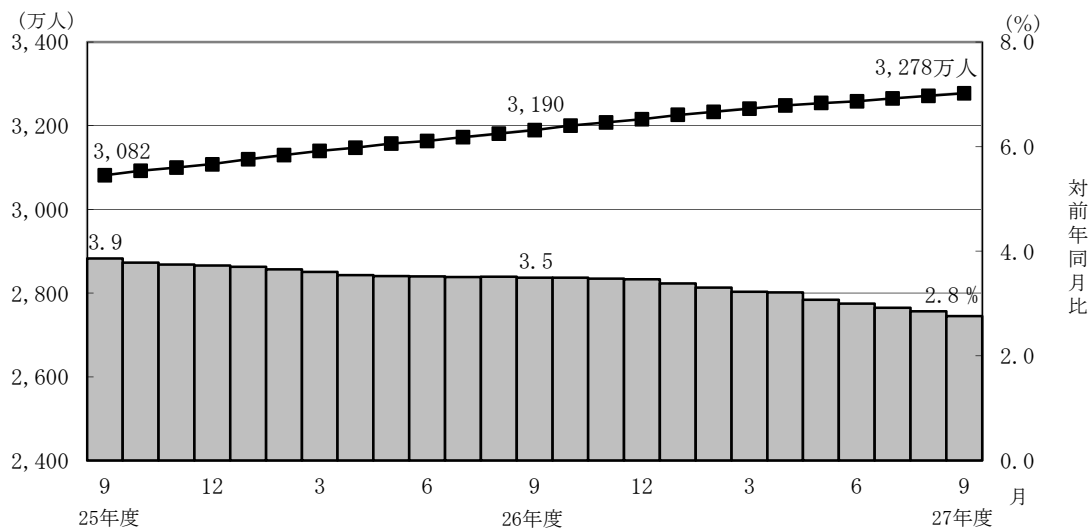
図6 国民年金第3号被保険者数の推移



## (2) 給付状況

- 平成27年9月末の国民年金受給者数は3,278万人（旧法拠出制172万人、基礎年金3,106万人）で、前年同月に比べて88万人（2.8%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は3,084万人（旧法拠出制165万人、基礎年金2,919万人）で、前年同月に比べて85万人（2.9%）増加している。
- 障害給付の受給者数は184万人（旧法拠出制6万人、基礎年金178万人）で、前年同月に比べて3万人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は10万人（旧法拠出制1万人、基礎年金8万人）で、前年同月に比べて2千人（2.3%）減少している。

図7 国民年金受給者数の推移



- 国民年金の老齢年金受給者の平均年金月額は、平成27年9月末で5万5,119円となっている。

老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、5万2,069円となっている。

- 旧法老齢年金受給権者及び厚生年金の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者について繰上げ受給の状況をみると、9月は新規裁定者1万3千人のうち繰上げ受給権者が1千人となっており、繰上げ受給率は10.2%である。なお、平成26年度新規裁定者の繰上げ受給率は12.4%となっている。